

幼 児 の 教 育

昭 和 十 一 年 四 月

四 月

花が咲いてゐる。みんなに花自ら嬉しいであらう。花が満開してゐる。みんなに花自ら楽しいであらう。その、花自らの喜びを喜びとし、その幸福を祝ふ心、それが四月のまごころである。たゞ、こつちの興味で、美しき眺め、美しき賞するのみではない。

見よ、わが園に、子ぎもらの生活が咲いてゐる。満開してゐる。かれら自らに、みんなに快いこころであらう。みんなに喜ばしいこころであらう。その、子ぎもらの幸福を、子ぎもら自らの心に和して祝ふ心、それがわれらのまごころである。

しかも、またしても、花を賞美するだけで、花そのものゝ心になつて喜んでやらない如く、またしても、教育のためから眺めたりするだけで、子ぎもら自らの心になつて喜んでやるこころを忘れる。

(倉橋惣三)